



客員教員 細谷 浩史

皆様。この度はご卒業おめでとうございます。

在宅での単位の認定試験など、昨年度に引き続き今年度も今までにない事態となりましたが、学位を無事取得されました皆様のご努力に心から敬意を表させて戴きたいと存じます。

私は細胞生物学を専攻し、皆様よくご存知のゾウリムシの仲間、ミドリゾウリムシを研究対象としております。今年前期の「細胞生物学」の講義は休止となってしまい、時節柄止むを得ない事ではございますが、ご卒業の皆様にも、今年度は生物学の面白さをお伝えする機会がなくなりました事、残念に感じておりますところです。

皆様のご卒業をお祝いするというせっかくの機会でございますので、ミドリゾウリムシについて一言ご紹介させて戴きたいと存じます。ミドリゾウリムシの体内には、珍しいことに緑藻の一種クロレラが400個共生しております。藻類は光合成が可能で、共生によりミドリゾウリムシは光合成産物の利用が可能となりました。「共生」により動物が太陽エネルギーを利用できる植物の能力を獲得できたと申し上げて良いかもしれません。昨年のご卒業お祝い時には、各自が得意分野を持ち助け合う、という意味で、「共生」という言葉を皆様にお贈りさせて戴きました。その後ミドリゾウリムシの研究も進み、藻類がミドリゾウリムシ体内で活躍するために力を貸しているものがあるらし

い、それがバクテリアである可能性が次第に高くなりました。助け合うものが増え、互いの生活をより豊かにしている様子をできるだけ早く明らかにしたいと考えております。

長くなりました。皆様に、私の専門分野に絡め、改めて「共生」を花向けの言葉としてお贈りさせて戴きたいと存じます。本日は本当におめでとうございます。